

～地域の皆様に親しまれる温泉を目指して～

「美郷町温泉経営計画」が まとまりました

平成24年4月から、美郷町内の3温泉は新しく設立される会社が一括して経営する予定です。「美郷町温泉経営計画」では、新会社の組織、人事、経営について具体的な取り組み内容や目標を定め、安定した経営でこれまで以上に地域の皆様から親しまれる温泉を目指します。

●新会社の設立と経営理念

新会社は、町、秋田おぼこ農業協同組合、美郷町商工会が出資している千畑ヘルス観光株式会社を母体に、同社の名称を変更して設立します。

経営理念

- ◆営業活動を通して美郷町民の福祉向上に貢献します
- ◆良質なサービスを提供し、お客様の保養・健康増進に貢献します
- ◆観光事業を通じて、美郷町の交流人口の拡大と活性化に寄与します
- ◆地域の農産物、商工業品の購入・販売を通じ、地域経済の発展に寄与します

●営業および管理を予定している施設

町内3温泉施設の運営のほか、周辺施設の管理なども行います。

千畑温泉	温泉館、湯治館、調理研修施設、生産物直売所
六郷温泉	あったか山保養館、コテージ、バンガロー
雁の里温泉	雁の里健康センター、雁の里多目的集会施設
公園等	仏沢公園、仏沢交流施設、雁の里山本公園

●効率的な社員配置

管理部門の一本化などにより必要人員を絞り込み、必要となる社員と臨時社員を平成23年度中に募集する予定です。

●経営改善の取り組み

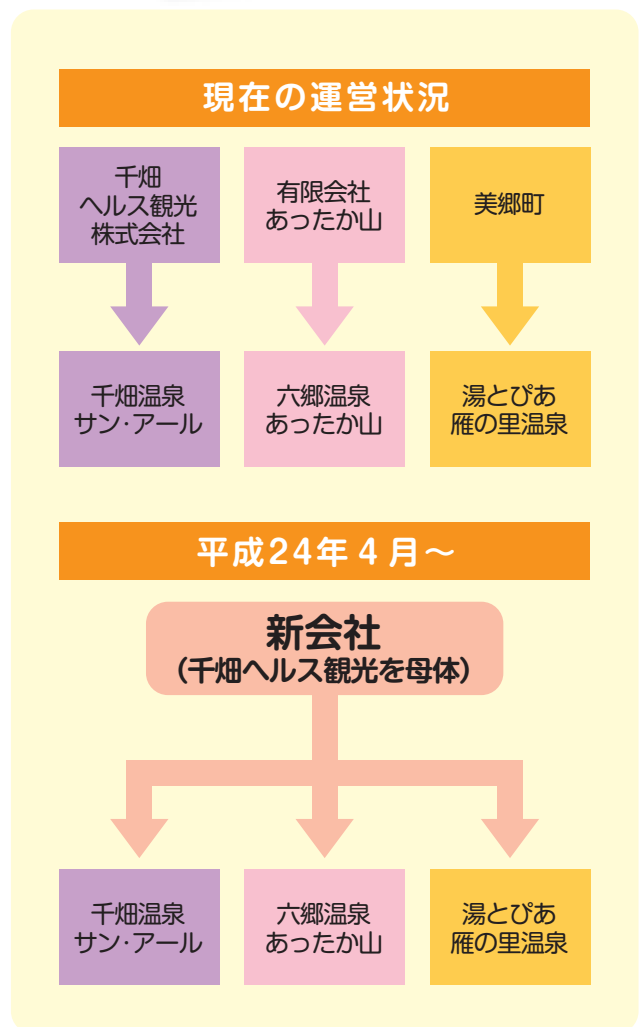
コストダウン等の経費削減とお客様のニーズに応える企画やサービスの提供を行います。

【経費削減の取り組み】

- ・従業員に関わる人件費の圧縮
- ・水道光熱費、燃料費等の削減 など

【増収の取り組み】

- ・パークゴルフ場などの周辺施設と連携したセットプランの販売
- ・宿泊や宴会で利用される方の送迎の充実 など



経営計画に関するお問い合わせ先
町商工観光交流課 ☎0187-84-4909

長野県東御市と 防災協定を締結しました

このたび、美郷町と長野県東御市は「災害時における相互応援に関する協定（防災協定）」を締結しました。協定は、両市町で大規模災害が発生した場合、相互に協力することで被災地域の応急対策を円滑かつ迅速に実施することを目的としており、応急物資の供給、被災者の一時受け入れなどを内容としています。

締結式は10月15日に東京都大田区役所で行われ、松原忠義大田区長の立ち会いのもと松田町長と花岡利夫東御市長が協定書を

取り交わしました。花岡市長が「協定の締結は住民にとってかけがえのない安全安心の基礎となるだろう」とあいさつすると、松田町長は「今後も様々な形で交流を図り、もしもの際には協定をもとに相互に応援し合える体制を築きたい」と今後の体制作りへの意欲を述べました。

美郷町と大田区は、平成17年に友好都市提携と防災協定を締結しており、同区の友好都市である東御市と共に物販イベントなどを通じて交流を深めてきました。今回の防災協定締結により美郷町、東御市、大田区の3自治体が災害発生時に相互に協力できる体制が整いました。



▲協定書を手にする松田町長、松原大田区長、花岡東御市長（写真左から）

長野県東御市ってこんなところ

長野県の東部に位置し、人口は約31,000人。小県郡東部町と北佐久郡北御牧村の2町村が合併して平成16年4月1日に誕生した。特産品は、くるみ（シナノグルミ）、巨峰、白土馬鈴薯、スイートコーン、薬用人参など。平成8年に大田区と友好都市提携を締結（旧東部町）。平成16年に同区と防災協定を締結。



友好都市・東京都大田区で 美郷町の観光と特産品をPR

友好都市ふれあいひろば おおた商い観光展

10月15日、16日の2日間、大田区のJR蒲田駅西口広場で「友好都市ふれあいひろば」が開催され、同区の友好都市である美郷町と長野県東御市の物産展が行われました。美郷町からは関係者約30名が参加して美郷米や日本酒、漬物などを販売したほか、ミス清水による特産品の紹介や観光PRが行われるなど、町の魅力を区民の皆さんに知ってもらう貴重な機会となりました。会場は人通りの絶えない駅前とあって、2日間とも大変な賑わいを見せました。

また、同日、大田区産業プラザP i Oを会場に開催された「おおた商い観光展」では、区内外の企業や友好都市など約100団体が出店し、特産品の商談や物販が行われました。美郷町のブースでは、日本酒や地サイダー、漬物が販売され、会場に訪れたたくさんの人が美郷産品を買い求めていました。



▲友好都市ふれあいひろば



◀おおた商い観光展